

第47回茨城県損保・警察連絡協議会総会を開催

～県警察本部等と連携し、反社会的勢力や不当・不正請求の排除を推進～

茨城県損保・警察連絡協議会(会長:河上 精二 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 茨城支店 理事 支店長)では、2024年2月7日(水)水戸京成ホテルにて、第47回目となる2023年度総会を開催しました。本総会には、顧問・来賓・会員ら27名が出席しました。

初めに、当協議会の顧問を務める県警察本部からの講演がありました。第1部として萩野谷刑事部参事官兼組織犯罪対策課長から「匿名・流動型犯罪グループの現状と対策について」と題し、テレビ等で報道されている「ルフィ強盗事件」に代表されるような同グループの動向と特徴、準暴力団による事件および県警の取組等の説明がありました。

第2部として、小野刑事部捜査第三課長から「金属盗の認知状況・主な検挙事例について」と題し、令和5年度の県内盗難件数は、茨城県は昨年度に比べても大幅に増加し、全国ワースト1位を継続していること、県西・県南で多く発生していること、1000KW以上の太陽光発電施設が狙われていること、その窃盗犯被疑者の多くは不法滞在の外国人であり、対策を強化している旨の説明がありました。

第3部として、渡辺交通部交通指導課長から「県内の交通事故と保険金詐欺事件の概況について」と題し、県内の交通事故による死亡事故の特徴や、反射材の装着による事故件数の減少等の説明がありました。

続いて会長・顧問・来賓の挨拶に続き、昨年度の活動報告、今年度の活動計画、役員・顧問および決議文が承認されました。

河上会長からは、損害保険業は交通事故や自然災害に対する経済的備えとして社会公共性の高い事業であり、保険金詐欺や反社会的勢力による不当・不正な請求、老朽化による損害を自然災害の損害と偽って保険金請求をする悪質な住宅修理業者などに対して関係機関で連携した対策が必要である旨、挨拶がありました。また、萩野谷刑事部参事官兼組織犯罪対策課長からは、茨城県暴力団排除条例一部が令和6年4月1日に改正されることもあり、暴力団や匿名・流動型犯罪グループへの対応について、引き続き、支援と協力をお願いしたいとの挨拶がありました。

当協議会では、平素から定例会を開催して損保会社間で情報交換を行い、県警察本部と不正請求疑義事案等の情報を共有しています。これからも警察等と連携して、保険金不正請求防止等に取り組んでいきます。



県警による金属盗難についての講演



会長挨拶(河上会長)



顧問挨拶（萩野谷刑事部参事官兼組織犯罪対策課長）



来賓挨拶（暴力追放推進センター富澤専務理事）